経済産業省

中東経済の動向と日本企業の進出概要

経済産業省　中東アフリカ課

上田　悠紀子

サウジアラビア王国

The Kingdom of Saudi Arabia / المملكة العربية السعودية

1　内政

- 2015年1月、アブドッラー第6代国王の崩御に伴い、サルマン皇太子が第7代国王に即位。同年4月末、第三世代（初代国王の孫の世代）のムハンマド・ビン・ナーイフ(MbN)副皇太子が皇太子、ムハンマド・ビン・サルマン(MbS)国防相が副皇太子に叙任され、世代交代が進展。2017年6月、国王令にてMbN皇太子解任、MbS副皇太子が皇太子に就任。
- 13年1月、諮問評議会で女性議員が初めて任命された（2017年2月時点女性議員総数：30名、全体の20%）。16年12月の地方評議会選挙で初めて女性の選挙権・被選挙権が認められた。

2　要人

- サルマン国王（兼首相。敬称：二聖モスクの守護者）
- ムハンマド皇太子（サルマン国王の子息）
- アル＝ファーレフ　エネルギー産業鉱物資源大臣兼国際戦略パートナーシップセンター（SCISP）会長、アル＝スゲールSCISP長官
- アル＝トワイジリ経済企画大臣、アル＝カサビ商業投資大臣

3　二国間関係

- 1955年の外交関係樹立以来、一貫して良好な関係。スルタン皇太子薨去（2011年10月）、ナーイフ皇太子薨去（12年6月）、アブドッラー国王崩御（15年1月）に際し、皇太子殿下が弔問のためサウジアラビアを御訪問。
- 13年4月、安倍総理がサウジアラビアを訪問。14年2月には、サルマン皇太子が訪日（公賓）し、「包括的パートナーシップ」の更なる強化で一致。16年9月には、ムハンマド副皇太子が訪日（公実賓）し、「ビジョン2030」実現への協力で一致。17年3月にはサルマン国王が訪日(公実賓）、第3代ファイサル国王以来，46年ぶりの歴史的な訪日であり，安倍総理との首脳会談において協力の方向性と具体的プロジェクトを特定した「日・サウジ・ビジョン2030」が合意された。
- 日本はサウジアラビアから輸入原油の約32%を輸入（世界第1位）。また総額70億ドルのペトロラービグ・プロジェクトの第二フェーズ等の投資案件（自動車、金属加工、水処理、IT分野等）が進捗。

国章

国旗

面　　積	215万km²（日本の約5.7倍）
人　　口	3,228万人（2016年：世銀）
都　　市	首都リヤド
民族・言語	アラブ人・アラビア語
宗　　教	イスラム教
元　　首	**国王**：サルマン・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウード国王陛下（第7代：2015年即位、敬称：二聖モスクの守護者） **皇太子**：ムハンマド・ビン・サルマン（2017年叙任）
議　　会	諮問評議会（勅選議員150名）
政　　府	首相：国王が兼任、副首相：皇太子が兼任、外相：アーデル・ビン・アフマド・アル・ジュベイル閣下（非王族）
G　D　P	約6,396億ドル（2016年IMF）
GDP／人	約20,150ドル（2016年IMF推定値）
在留邦人 日系企業数	1,313人（2017年7月,外務省） 115社（2017年10月,JETRO）
対日輸出	約3兆1,149億円（原油等） （2017年財務省貿易統計）
対日輸入	約4,189億円（輸送機器、一般機械等） （2017年財務省貿易統計）

○航空協定が09年7月に、租税条約が11年9月に発効。投資協定は17年4月に発効。
○２０１３年４月～５月、安倍総理がサウジアラビアを訪問。
○２０１４年２月、サルマン皇太子（当時・現国王）が訪日、安倍総理と会談。茂木経産大臣とも会談。
○２０１４年５月、茂木経産大臣がサウジアラビアを訪問。
○２０１５年５月、アル＝ファキーフ経済企画大臣来日。宮沢経産大臣と会談。
○２０１５年１１月、Ｇ２０サミット（トルコ）のマージンで安倍総理とサルマン国王が会談。
○２０１６年１月、高木経産副大臣がサウジアラビアを訪問。
○２０１６年９月、ムハンマド副皇太子（当時）が訪日、安倍総理、世耕経産大臣と会談。
○２０１６年１０月、世耕経産大臣がサウジアラビアを訪問。
　　サルマン国王、ムハンマド副皇太子（当時）を表敬。
○２０１７年３月　世耕経産大臣がサルマン国王を表敬。
○２０１８年１月　世耕経産大臣がサウジアラビアを訪問。サルマン国王を表敬。
○２０１８年５月　アル＝ファーレフ・エネルギー産業鉱物資源大臣が訪日。世耕経産大臣、河野外務大臣と会談

サウジアラビア・ビジョン2030（「Saudi Arabia Vision 2030」）

- サウジ政府は、本年4月、ムハンマド・ビン・サルマン（MbS）副皇太子が主導し、2030年までの今後15年間で達成すべき目標とそのための政策アジェンダをまとめた「サウジアラビア・ビジョン2030」（SV2030）を発表。2030年にあるべきサウジアラビアの姿を見据えた青写真を描く。
- SV2030では、①脱石油依存経済、②雇用の創出、③効率的な行政の３つの目標を達成することで、サウジ経済が抱える課題を包括的に解決し、持続可能な経済成長の創出を目指す。

①脱石油依存経済／成長戦略

・産業の多角化 ・再生可能エネルギー導入 ・文化・スポーツ・エンタメ活性化 ・ビジネス・投資環境の改善	・非石油収入1630億SR（約4.5兆円）→ １兆SR（約27兆円） 非石油輸出の割合　16%→ 50% ・9.5GWの再生可能電源開発 ・家計の文化・エンタメ支出　2.9%→ 6% ・GDPに占めるFDIの割合　3.8%→ 5.7%、新経済特区の建設

②雇用の創出

・職業教育、若者・女性の就業促進 ・中小企業振興、起業支援	・失業率 11.6%→ 7%、就業する女性の割合22%→ 30% ・GDPに占める中小企業の割合　20%→ 35%

③効率的な行政

・国営企業改革（PIFのSWF化、アラムコIPO含） ・医療・教育分野等の民営化、民間資本導入 ・規制緩和・政府支出の効率化	・**アラムコの株式(約５%)を新規株式公開。 その資金でPIFを世界最大のSWF(資産2兆ドル規模)に。** ・医療サービス改善、平均寿命を74歳→80歳 ・民間セクターのGDPに占める割合40%→ 65%

日・サウジ・ビジョン2030概要
（Saudi-Japan Vision 2030）

平成29年3月
外務省
経済産業省

1　骨子

■ 新しい日サ協力の羅針盤として，脱石油依存と雇用創出のためサウジが追求する「サウジビジョン2030」と，GDP600兆円の達成に向けて日本が追求する「日本の成長戦略」のシナジーを目指す。
■ シナジーを最大化するため，以下の3本の柱からなる日本ならではの総合的な協力とする。

①多様性：幅広く強靱な産業育成による持続的成長
②革新性：技術・イノベーションへの投資による競争力強化
③ソフトバリュー：社会・文化的基盤強化による経済活性化

■ 日サの41省庁・機関が参加し，具体的連携の重点分野として，以下の9分野にまたがる広範な協力分野を設定。

①競争力ある産業	**④健康・医療**	**⑦中小企業・能力開発**
②エネルギー	**⑤農業・食料**	**⑧文化・スポーツ・教育**
③エンターテイメント・メディア	**⑥質の高いインフラ**	**⑨投資・ファイナンス**

■ 規制の見直し，インセンティブ等のビジネス促進措置（Enabler）の強化でも連携。

2　先行プロジェクト

■ 重点9分野と同措置に関し，両国の合意に基づき，31件の先行プロジェクト（別紙）を選定，実施する。
■ 官官で11件、官民及び民民で20件の覚書に署名。

3　実施体制の強化

■ 日・サウジ・ビジョン2030の実施体制強化のため，規制等横断的課題に取り組むサブグループを新設する。このサブグループに関する先行プロジェクトとして，経済特区（Enabler Showcase Zone; ESZ）を含む事業環境整備に向けた調査を開始する。
■ 東京とリヤドにビジョンの実施拠点「日・サウジ・ビジョンオフィス」を新設し，両国の各サブグループ参加機関や民間企業のコミュニケーションを加速し，プロジェクトの推進を支援。

「日・サウジ・ビジョン2030」の作成経緯

2016年4月　**サウジアラビア政府，「サウジ・ビジョン2030」を公表。**

「サウジ・ビジョン2030」は，石油依存体質から脱却し，包括的発展を実現するための成長戦略。計86ページの文書内に，各種数値目標が多数盛り込まれている。ムハンマド副皇太子が，経済開発評議会議長として策定を指揮。

サウジ・ビジョン2030の構成

1　活気に満ちた社会

観光振興，文化・娯楽・スポーツ振興，教育改革，ヘルスケアの拡充等

2　繁栄した経済

中小企業振興，女性の労働参画推進，公共投資基金の増資（1,600億ドル→2兆ドル以上），軍事産業の育成再生，可能エネルギーの推進等

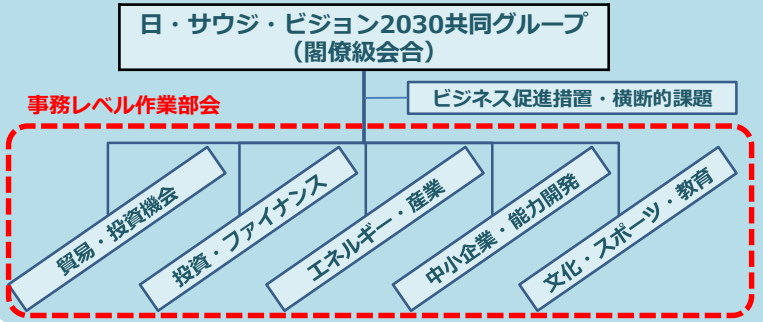
3　野心的な国家

人的資本開発，財政規律の見直し，歳入多角化の推進，ボランティア振興等

2016年9月　**ムハンマド副皇太子訪日。「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」の立ち上げを発表。**

二国間協力の基本的な方向性と具体的なプロジェクト・リストを掲げた「日・サウジ・ビジョン2030」を策定するための枠組み。

共同グループの構造



2016年10月　**「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」第1回閣僚級会合の開催（於：リヤド）。**

5つの事務レベル作業部会（サブグループ）会合も併せて開催。閣僚級会合の後，日本側出席者，世耕大臣及び薗浦副大臣によるサルマン国王及びムハンマド副皇太子への表敬が行われた。

閣僚級会合の様子

閣僚級会合の風景

サルマン国王表敬

議事録署名の様子

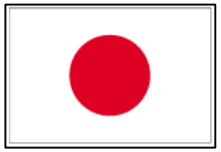
ムハンマド副皇太子表敬

2017年3月　サルマン国王訪日。第２回閣僚級会合の開催。

「日・サウジ・ビジョン2030」公表

従来の関係から戦略的パートナーシップへ

■ 日・サウジ・ビジョン2030は戦略的パートナーシップの新たな羅針盤として、サウジ・ビジョン2030と日本の成長戦略のシナジーにより共に発展することを目指す。



従来

日本への石油の安定供給

高品質製品の輸出
石油・石化関連部門への投資

サウジ・ビジョン2030

- ✓ 活気ある社会
- ✓ 盛況な経済
- ✓ 野心的な国家

成長戦略

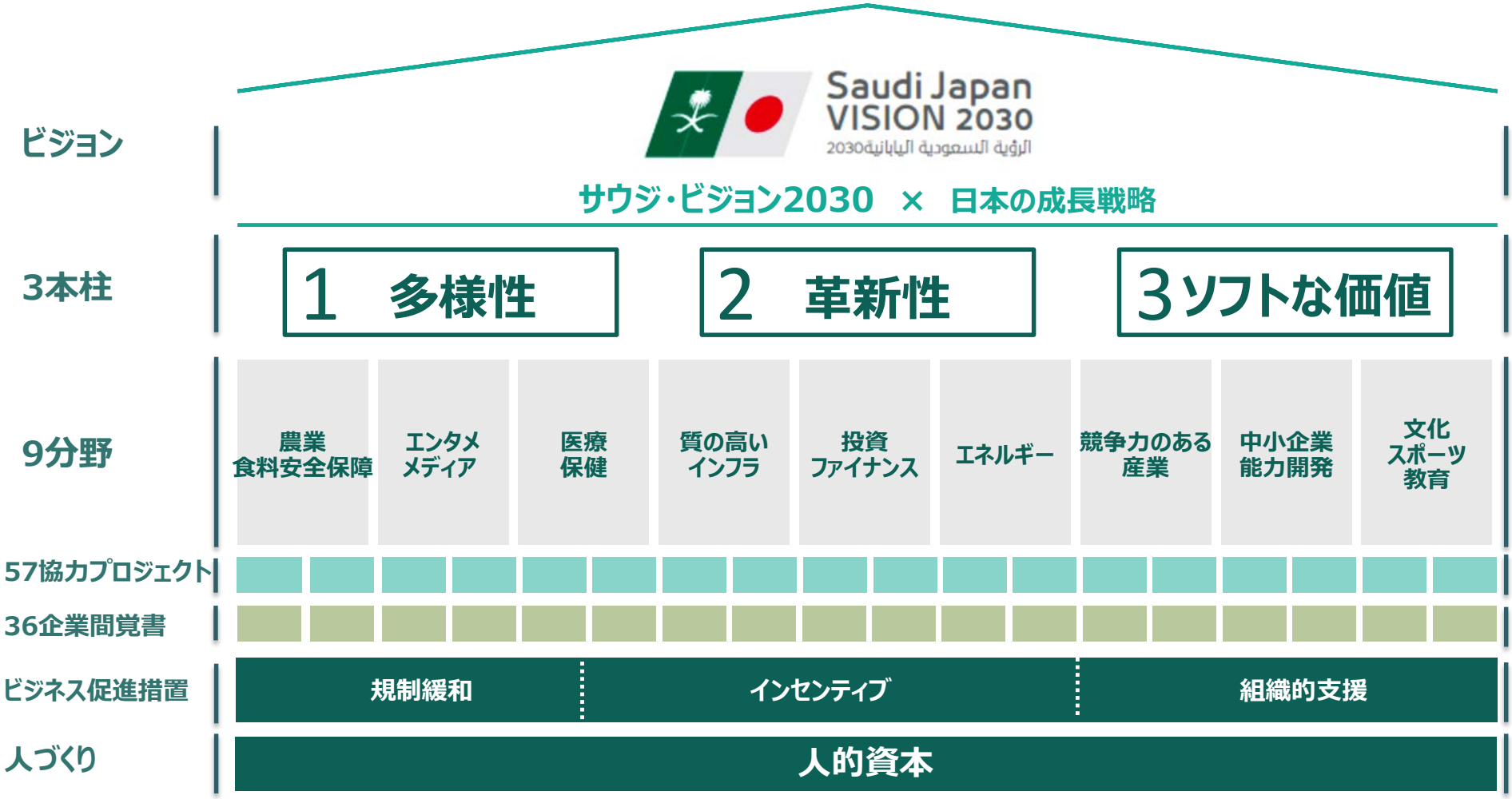
- ✓ ソサイエティ 5.0
- ✓ コネクテッド・インダストリーズ
- ✓ 女性の活躍
- ✓ クール・ジャパン など

戦略的パートナーシップ

Saudi Japan VISION 2030

日・サウジ・ビジョン2030の4つの特徴

- **包括的アプローチ: 3本の柱の下、9の協力分野で57の協力プロジェクトを45の省庁・機関**
- **日本経済界の全面的バックアップ: 36の企業間の覚書が締結**
- **人づくり支援: 1万人超の人材育成を実施**
- **ビジネス促進措置: 3つのESZ候補地を選定**



日本経済界の全面的バックアップ

- 日サビジョンにあわせて36の企業間の覚書が締結
- 本日、67社の日本企業から170人のビジネスマンが参加

国づくりは「人づくり」

- 自動車や家電の職業訓練、企業による人材育成プログラムにより、これまでに官民合わせて、**1万人超の人材育成を支援。**
- 今後、**中小企業、医療専門家、アニメ・クリエーター向け研修**など多数提案し、サウジの国づくりを支える「人づくり」を全力で支援。

横河電機

ユニチャーム

SJAHI
自動車修理

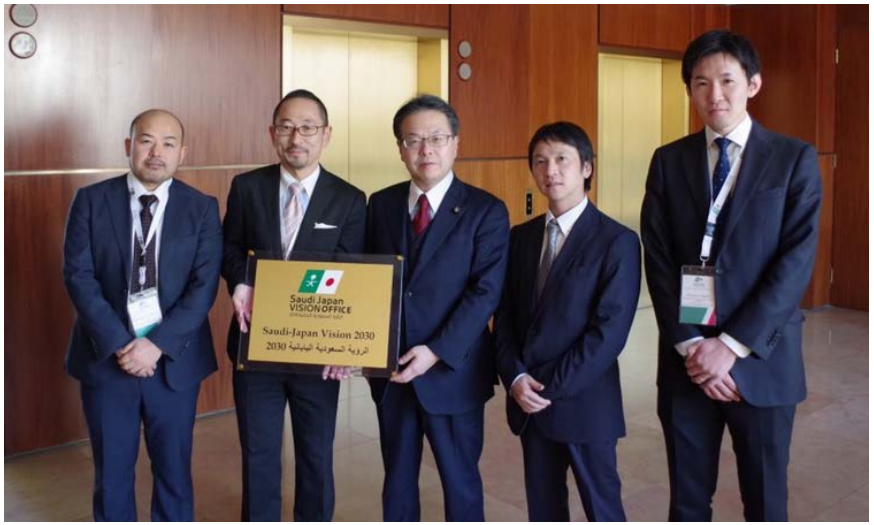
SEHAI
家電修理

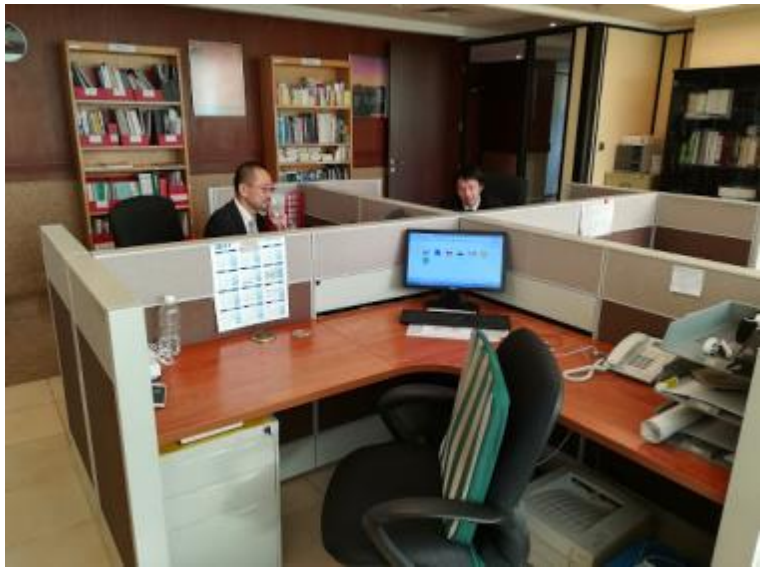
HIPF
石油化学製品

東邦チタニウム

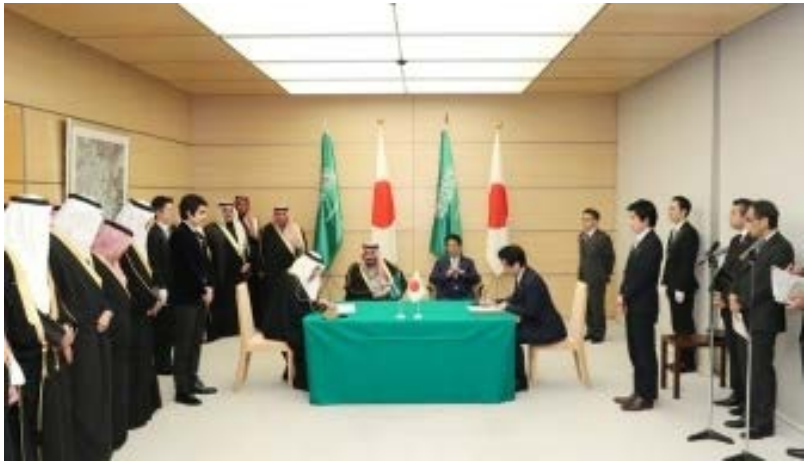
ビジネス促進措置 – ビジネス環境の改善

「日・サウジ・ビジョンオフィス」がリヤドに開所



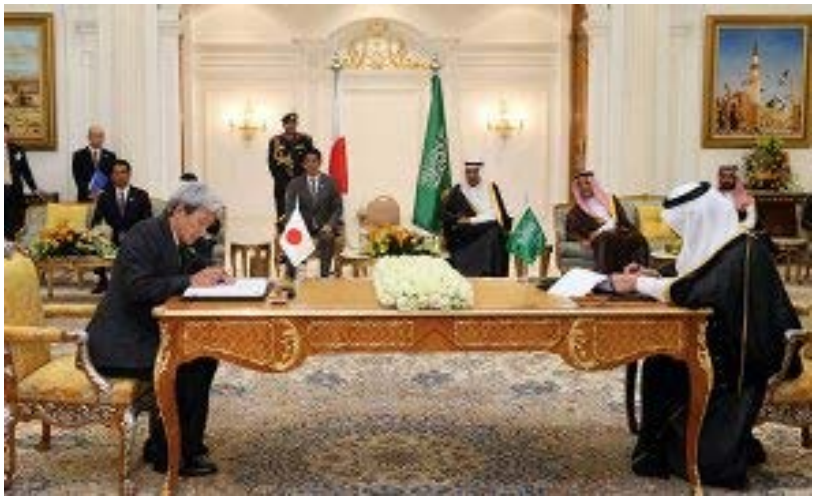


ビザ手数料引き下げ (2017年9月)
約24万円 ⇒ 約6千円



http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_004382.html

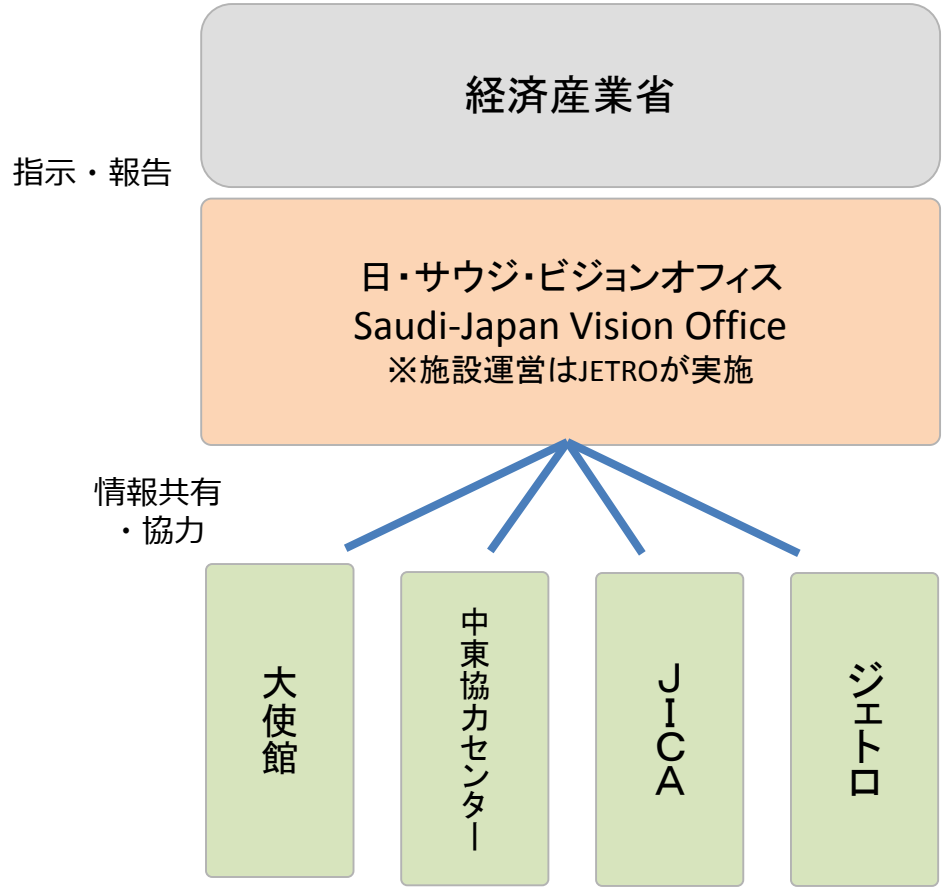
投資協定発効(2017年4月)



http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press6_000163.html

日・サウジ・ビジョンオフィスの概要

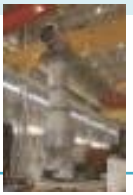
- 「日・サウジ・ビジョン2030」において、協力機会の効率的かつ着実な実施及び新たな機会の開拓のため、東京とリヤドの双方に協力の前進基地として相互にオフィスを設置することに合意。
- 日本が設立するリヤドオフィスは、2018年１月に立ち上げ。協力機会のフォロー、新規開拓の他、経済特区構想（ESZ; Enabler Showcase Zone）の実現や第4次産業革命協力といった具体的プロジェクトの実施も担う。



競争力のある産業

多様な分野でサウジへの投資が実現

Company	Products	
クボタ	鋳鋼製品	リフォーマチューブ
ジェイ・パワーシステムズ、丸紅メタル	電力海底ケーブルの製造・販売	
東洋紡、伊藤忠商事 東レ	海水淡水化向けＲＯ膜エレメントの製造・販売	
いすゞ自動車	トラックの組立・販売	
アズビル（山武）	調節弁の製造販売など	
東邦チタニウム	スポンジチタンの製造	

Company	Products	
SPDC(三菱商事など) <シャルク>	ポリエチレン エチレングリコールなど	SHARQ(シャルク)
住友化学 <ペトロラービグ>	エチレン、ポリエチレンなど	
JSMC(三菱ガス化学) <アルラジ>	メタノール	ペトロラービグ
三菱化学<サマック>	メタクリル酸メチル アクリル樹脂	
MHPS	ガスタービン補修工場	
日立製作所	ガス絶縁開閉装置の設計、建設など	
日本郵船	キングアブドラ港運営	
荏原製作所	ポンプの製造販売など	

2018年１月１４日、世耕経済産業大臣サウジアラビア訪問

■ **サルマン国王、アル＝ファーレフ　エネルギー産業鉱物資源大臣、アル＝カサビ商業投資大臣と会談を実施。「日・サウジ・ビジョン2030」に基づく協力の着実な進展を確認し、今後さらに協力を広く、深く、加速化させることで一致。**

サルマン国王表敬

アル＝ファーレフ大臣との会談

■ **また、「日・サウジ・ビジョン2030ビジネスフォーラム」を開催。エンタメ、ヘルスケアなど新たな協力分野を含む日本企業67社、サウジ企業130社が参加。日サ協力を促進・拡大する前進基地となる「日・サウジ・ビジョン・オフィス」の開所式典、6本の日サ企業間の協力文書の交換、3つのサウジアラビアにおける事業ライセンスの付与が実施された。**

世耕大臣スピーチ

日サビジョン2030ビジネスフォーラム